



- ◇「札幌の成果と課題」を踏まえ、以下の三点を重視して学校での学びを改善していく必要がある。
- 子どもが、**学ぶことの意義や楽しさ**を感じ取り、**自ら学び続けようとする意欲**をもつこと
- 子どもが、自ら考えたり表現したりするなどの**多様な学びを経験し、身に付けること**
- 子どもが、学び続けるための**基礎的・基本的な知識や技能**を身に付け、**新たな学びに自信をもって挑戦**していけるようになること

◇学校での学びの質を高め、家庭とも一体となって「学ぶ力」を育むことを目指して「さっぽろっ子「学ぶ力」の育成プラン」を実施する。

平成29年度 さっぽろっ子「学ぶ力」の育成プラン

「札幌市教育振興基本計画」(H26年度～)に位置付けて推進

SAPPORO

◆分かる・できる・楽しい「授業づくり」の充実

「子どもが自ら考え、判断し、表現する学習活動」の充実

- 自ら疑問や課題をもち、主体的に解決する**課題探究的な学習**を取り入れた授業の工夫改善を図る。
- *「体験的な活動」「学び合い」「言語活動」等を通して、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す。

学ぶ意欲の向上

「自分への自信をもたせるきめ細かい指導」の充実

- 児童生徒の実態に応じて、基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図り、子どもが分かる・できる喜びを実感できるよう、**個に応じた指導の充実**を図る。
- *「TTの有効活用」「定着を図る授業を位置付けた単元構成」「朝の時間を活用した学習活動」等

5つのポイント

- 1 難しいことにも挑戦する意欲を伸ばします。
- 2 「自ら学ぶ方法」と「人と学び合う方法」を身に付けられるようにします。
- 3 意味理解を伴った知識の習得と、知識を使いこなす力を伸ばします。
- 4 自分の「伸び」を実感して、新たな目標をもてるようにします。
- 5 生活を自らコントロールする力を育みます。

各学校が「学ぶ力」育成プログラムを改訂し実行

○各学校が、自校の児童生徒の「学ぶ力」の実現状況を踏まえて、指導方法等の**課題を明確化し、改善に向けて作成したプログラムの改訂、実行**に取り組む。(教育課程等への位置付け、指導方法の改善など)

教員の指導力向上に向けた施策

具体的な改善策について教育委員会が支援

札幌市教育センター研修事業

- 授業づくりに関する**研修の充実**
- ・実効性の高い研修の充実
- ・指導資料等の積極的な活用

札幌市教育研究推進事業

- 「分かる・できる・楽しい授業」に関する**研究の推進**
- 次期学習指導要領の実施に向けた**研究の推進**
- ・教職員の協働による授業づくりに関する実践的研究の推進
- ・研究・研修の成果の発信

教育課程研究協議会・説明会等

- 「分かる・できる・楽しい授業」の**在り方を協議**
- 次期学習指導要領の実施を踏まえた教育課程の**在り方を協議**
- ・事例の共有
- ・研究開発事業の成果発信等

札幌市研究開発事業

- 指導方法等の**モデル事例開発**
- ・研究推進校によるモデル事例の開発
- ・モデル事例の共有と活用

◆学校、家庭が一体となった「習慣づくり」「環境づくり」の推進

情報発信の充実

○家庭、地域への情報発信を充実

- ※家庭や地域との共通理解のもとで「学ぶ力」の育成に向けた取組を推進
- ・リーフレット**さっぽろっ子「学び」のススメ**の配布と活用
- ・「札幌市教育フォーラム」の開催(H25.10.29/H26.2.26/H27.5.1)
- ・札幌市PTA協議会との連携
- ・広報活動の充実・工夫

「学ぶ力」の育成推進協議会

○「学ぶ力」の育成に向けた取組について意見交換

- ※会議メンバー：保護者代表、大学教授、校長、教員等
- ・学校、家庭が一体となった子どもへの働きかけについて、「**学ぶ力**」の育成に向けた**5つのポイント**から協議(さっぽろっ子「学び」のススメの活用方法等について提案)
- ・ICTの活用、学生ボランティアの活用などの環境整備

校長会との連携強化

○双方向による「学ぶ力」の育成

- ※校長会との多様な機会における双方向の連携を強化
- ・「学ぶ力」の育成に向けた協議
- ・各区の教務主任会への**指導主事の派遣**
- ・校長会への情報提供、啓発、助言
- ・各学校の研修会等の充実

子どもの自己評価を生かした「学ぶ力」の評価と指導の改善 ～20の指標～

- 教育施策や教育指導の改善に反映するため、**札幌市全体の共通指標を設定し、子どもの学習状況等を把握するとともに、分析する。** ※各種調査結果+子どもの自己評価
- ①授業中、自分で疑問やめあてをもって学習に取り組もうとしている。②分からないことは、自分で調べてはつきりさせようとしている。③勉強していて、おもしろい、楽しいと思うことがよくある。④意見の違う人とも、よく話し合おうとしている。⑤今の自分にとって、どのように勉強するのがよいか分かっている。⑥勉強で同じ間違いをくり返さないように気をつけている。⑦新しく習ったことは、くり返し練習をしている。⑧普段から、計画を立てて勉強している。⑨分からないことは、そのままにせず、分かるまで努力するようにしている。⑩意見を書くときには、その理由をはつきりさせて書くようにしている。⑪意見を発言する前に、自分の考えがうまく伝わるように、話の内容や順序を考えている。⑫授業中、自分の意見を進んで発言している。⑬授業中、友達や先生の説明、意見を終わりにまで聞いている。⑭人の意見を聞いて、それを参考にして自分の考えを見直すことがよくある。⑮習ったことや知っていることを使って、自分で考えることが大事だと思う。⑯学校で好きな授業がある。⑰授業中に分からないことがあったときに、友達や先生に聞くようにしている。⑱困ったとき、悩みがあるときは、人に相談するようにしている。⑲外国の人と交流する機会をもちたいと思う。(話をしたり、一緒に何かの活動をしたりするなど)⑳札幌には、好きな場所やものがある。(自然、建物、イベント、歴史、文化など)

検証改善サイクルの確立

評価

改善

検証改善

子どもの学力の現状と「札幌の成果と課題」

国際的な学力調査から明らかとなっている日本の子どもの学力状況も踏まえつつ、全国学力・学習状況調査結果や札幌市学習実現状況調査等の各種調査結果を総合的に分析し、札幌市の子どもの「学ぶ力」について、「**札幌の成果と課題**」をまとめました。

■国際比較による日本の子どもの学力■

TIMSS2015

国際数学・理科教育動向調査

小4、中2が対象
算数・数学、理科の
知識・技能の習得状況

【小学校】算数5位(49か国中)、理科3位(47か国中)
【中学校】数学5位(39か国中)、理科2位(39か国中)

「比較できる範囲で最も良好な結果であり、国際的にも引き続き上位に位置している。習熟度の高い児童生徒の割合は、前回調査に比べ増加しているが、他の上位国・地域と比べると、その割合は低い傾向。」

「算数・数学、理科について楽しいと思う児童生徒の割合が増加したり、『日常生活に役立つ』『将来、自分が望む仕事につくために、良い成績をとる必要がある』という生徒の割合が増加。」(文部科学省資料より抜粋)

PISA

OECD生徒の
学習到達度調査

15歳が対象。義務教育修了段階で身に付けた知識や技能を実生活の様々な場面でどの程度活用できるか。

■数学的リテラシー

様々な文脈の中で数学的に定式化し、数学を活用し、解釈する個人の能力

2012年 7位(65か国・地域中) 2015年 5位(72か国・地域中)

■科学的リテラシー

科学的な考えを持ち、科学に関連する諸問題に関与する能力

2012年 4位(65か国・地域中) 2015年 2位(72か国・地域中)

■読解力

自らの目標を達成し、知識と可能性を発達させ、社会に参加するために、書かれたテキストを理解し、利用し、熟考し、これに取り組むこと

2012年 4位(65か国・地域中) 2015年 8位(72か国・地域中)

○各分野とも、日本は引き続き平均得点が高い上位グループに位置。

○自分の将来に理科の学習が役に立つと感じている生徒の割合が2006年に比べ増加。

「読解力については、コンピュータ使用型調査に対する生徒の戸惑いや、次期学習指導要領に向けた検討過程において指摘された課題が本調査で明らかになった。」(文部科学省資料より抜粋)

■札幌の子どもの学力■

平成28年度全国学力・学習状況調査

小6、中3が対象(H28年4月実施)
国語、算数・数学の
「知識に関する問題(A問題)」
「活用に関する問題(B問題)」

札幌市学習実現状況調査

小5、中2が対象(H27年2月実施)
小5では社会、中2では英語・社会について「基礎に関する問題」と「応用に関する問題」

【小学校】 ⇒国語、算数の問題A、Bいずれも、
全国平均正答率と「ほぼ同程度」
【中学校】 ⇒国語、数学の問題A、Bいずれも、
全国平均正答率と「ほぼ同程度」
※「ほぼ同程度」は、全国の平均正答率と比較して±3ポイントの範囲内。

【小学校】社会…期待される正答率(設定通過率)を下回っている。
【中学校】社会…期待される正答率(設定通過率)と「ほぼ同程度」
英語…期待される正答率(設定通過率)と「ほぼ同程度」

◆**知識・技能の定着**については、小学校国語(漢字を正しく書くことなど)、算数(小数・分数の乗法・除法の計算など)に**継続的な課題**
◆**「活用」**に関しては、中学校で全国平均正答率を上回る問題が見られる。一方で、「**適切な根拠に基づいて説明すること**」や「**自分の考えを書くこと**」などの問題で、全国と同様に無回答率が高く、**小・中学校ともに課題**。※算数・数学においては、やや改善が見られる。

※「下回る」は、全国の平均正答率と比較して3.1ポイント以上、下回る状況。
※「上回る」は、全国の平均正答率と比較して3.1ポイント以上、上回る状況。

■札幌の子どもの学習習慣と学習意欲■

平成28年度全国学力・学習状況調査

■**読書が好き**な子どもの割合は、平成19年度に比べ増加し、**全国平均より高い**状況。※()内は全国平均

H19年度:小72.0%(71.3%) 中66.5%(67.9%)

H28年度:小77.4%(74.6%) 中75.6%(69.9%)

■**難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している**子どもの割合は、平成19年度に比べ増加しているが、**全国平均より低い**状況。※()内は全国平均

H19年度:小69.8%(72.3%) 中62.7%(62.0%)

H28年度:小72.5%(76.1%) 中67.4%(69.6%)

札幌市児童生徒の実態に関する基礎調査

■H26年度の調査では、家庭での学習時間は、小・中学校ともに、「ほとんどしない」と回答した割合が過去調査(H23年度)に比べ減少しているが、「15分以内」「ほとんどしない」と回答している子どもの割合が小学生(小5)15.7%、中学生(中2)26.7%となっている。

■**将来の夢や目標をもっている**子どもの割合は、小学校において平成19年度に比べ増加しているが、小・中学校ともに**全国平均より低い**状況。※()内は全国平均

H19年度:小81.5%(83.7%) 中69.2%(70.7%)

H28年度:小83.9%(85.3%) 中68.6%(71.1%)

◆**家庭での学習習慣や、学習意欲**についての課題が見られる。

★札幌の成果と課題★

- 読書への意欲向上に成果。一方、学習習慣の確立や、自ら学ぼうとする学習意欲の向上に課題。
- 思考力・判断力・表現力等に、課題探究的な学習等の成果も見られるが、知識・技能ほど十分に身に付いているとは言えない。
- 知識・技能は、概ね身に付いているが、**小学校の教科領域の一部に継続的な課題**も見られる。

学習などについてのアンケート(札幌市全体の共通指標)の結果

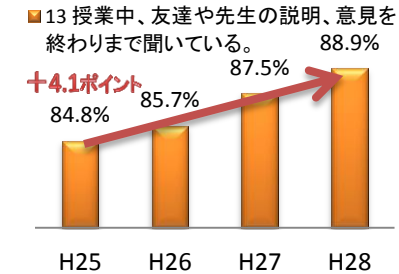
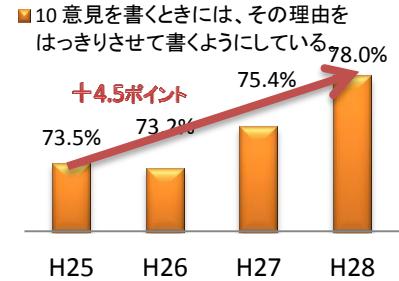
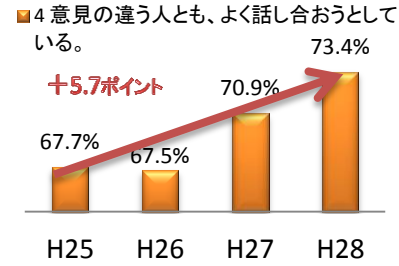
平成25年度から実施している「学習などについてのアンケート」では、平成27年度に比べ、平成28年度は、**小学校、中学校ともにほとんどの質問について、肯定的な回答の割合が高くなっています。**特に、右のグラフにあるように、「意見の違う人とも、よく話し合おうとしている」「意見を書くときには、その理由をはっきりさせて書くようにしている」等の項目や、「分からないことは自分で調べてはっきりさせようとしている」等の項目において、平成25年度と比較すると、肯定的な回答の増加が顕著に見られました。札幌市において**課題探究的な学習**を推進し、授業で言語活動の充実が図られた結果、**自ら思考・判断し、互いに考えを伝え合って、課題を解決しようとする児童生徒が増えてきている**ことがうかがえます。

また、「授業中、友達や先生の説明、意見を終わりまで聞いている」「習ったことや知っていることを使って、自分で考えることが大事だと思う」と考える児童生徒は、昨年度同様、小学校、中学校ともに90%前後の高い割合となっており、**札幌市の子どもの「学ぶ態度」として、「聞く」「考える」姿勢がさらに伸びています。**

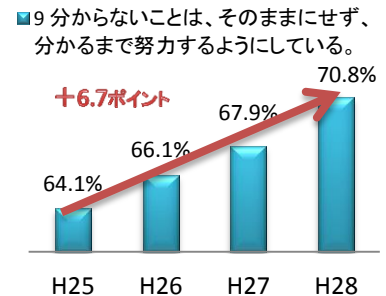
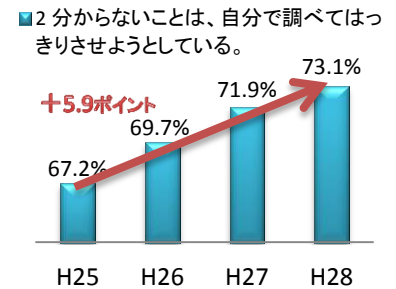
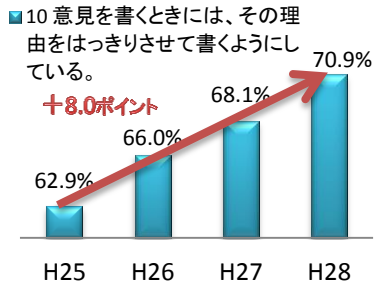
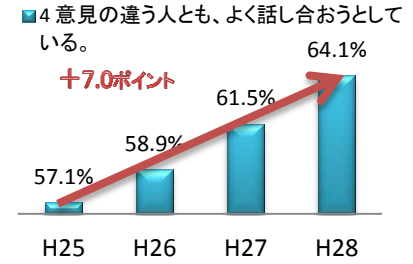
一方、「授業中、自分の意見を進んで発言している」児童生徒が多くいるとは言えない結果となっており、「積極的に話す」ことについては、さらなる伸びを期待し、**授業改善が必要です。**

また、「新しく習ったことは、くり返し練習をしている」「普段から計画を立てて勉強している」児童生徒についても同様の結果となっており、**授業以外でも「自ら学ぶ」方法を身に付けられるよう、学ぶ意欲の向上や家庭での学習習慣づくりに向け、学校と家庭との連携が求められます。**

小学校



中学校



成果

課題

質問	肯定的な回答の割合							
	小学校				中学校			
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
1 授業中、自分で疑問やめあてをもって学習に取り組もうとしている。	77.3%	76.5%	78.8%	79.8%	61.6%	63.9%	64.7%	65.9%
2 分からないことは、自分で調べてはっきりさせようとしている。	73.5%	73.5%	74.4%	75.8%	67.2%	69.7%	71.9%	73.1%
3 勉強していて、おもしろい、楽しいと思うことがよくある。	84.6%	84.6%	85.6%	87.4%	62.4%	64.2%	65.2%	66.8%
4 意見の違う人とも、よく話し合おうとしている。	67.7%	67.5%	70.9%	73.4%	57.1%	58.9%	61.5%	64.1%
5 今の自分にとって、どのように勉強するのがよいか分かっている。	76.5%	75.6%	78.4%	79.2%	59.3%	60.8%	60.8%	61.8%
6 勉強で同じ間違いをくり返さないように気をつけている。	86.6%	87.1%	88.0%	88.6%	79.5%	81.6%	82.7%	84.0%
7 新しく習ったことは、くり返し練習をしている。	64.9%	63.1%	66.2%	68.0%	46.0%	47.9%	48.4%	51.6%
8 普段から、計画を立てて勉強している。	55.8%	54.7%	56.3%	57.7%	30.1%	32.8%	32.6%	32.6%
9 分からないことは、そのままにせず、分かるまで努力するようにしている。	75.1%	74.3%	77.3%	78.9%	64.1%	66.1%	67.9%	70.8%
10 意見を書くときには、その理由をはっきりさせて書くようにしている。	73.5%	73.2%	75.4%	78.0%	62.9%	66.0%	68.1%	70.9%
11 意見を発言する前に、自分の考えがうまく伝わるように、話の内容や順序を考えている。	68.6%	68.6%	70.4%	71.7%	61.0%	63.0%	65.3%	66.4%
12 授業中、自分の意見を進んで発言している。	56.2%	54.2%	57.0%	58.4%	35.6%	36.8%	37.4%	36.9%
13 授業中、友達や先生の説明、意見を終わりまで聞いている。	84.8%	85.7%	87.5%	88.9%	81.3%	82.9%	84.3%	86.6%
14 人の意見を聞いて、それを参考にして自分の考えを見直すことがよくある。	80.7%	81.2%	83.0%	83.5%	75.9%	78.4%	80.0%	81.1%
15 習ったことや知っていることを使って、自分で考えることが大事だと思う。	88.6%	88.3%	90.1%	90.1%	85.8%	86.8%	88.1%	88.5%
16 学校で好きな授業がある。	96.2%	95.9%	96.2%	96.8%	87.7%	86.9%	86.3%	87.3%
17 授業中に分からないことがあったときに、友達や先生に聞くようにしている。	82.2%	81.0%	82.7%	83.9%	74.0%	74.9%	76.6%	77.9%
18 困ったとき、悩みがあるときは、人に相談するようにしている。	73.5%	72.9%	75.2%	75.4%	66.4%	66.8%	67.9%	69.5%
19 外国の人と交流する機会をもちたいと思う。(話をしたり、一緒に何かの活動をしたりするなど)	80.7%	78.5%	80.2%	80.9%	62.6%	62.8%	63.6%	61.7%
20 札幌には、好きな場所やものがある。(自然、建物、イベント、歴史、文化など)	90.8%	89.4%	89.6%	90.7%	84.3%	83.8%	83.8%	83.9%